

方策進行管理シート

令和3年度 尾道市立高西中学校

	目標達成のための方策	活 動	4月	5月	6月	7月	活動達成度	方策達成度	取組評価	
			目標数	目標数	目標数	目標数				
			達成数	達成数	達成数	達成数				
集団の カリマ ネの 推進	①学級力向上プロジェクトを軸とした学級力アンケートの活用	<ul style="list-style-type: none"> 学級経営案に基づくクラス経営をする。 教室後方の教室掲示によるマネジメントサイクルを可視化する。 学期に2回学級力アンケートを実施する。 	計画・実施	実施	実施	実施・振り返り				
			△	○	○	○	A	A	A	
	②委員会活動をはじめとしたよりよい学校づくりに向けた生徒会活動	<ul style="list-style-type: none"> 月1回の専門委員会の実施をする。 委員会の取組の可視化をする。 	計画・実施	実施	実施	実施・振り返り				
			○	○	○	○	A	A	A	
	③学級力を踏まえた話し合い活動の推進	学級力をもとにした学級活動での話し合い活動(課題解決に向けて)	計画・実施	実施	実施	実施・振り返り				
			△	○	○	○	A	A	A	
	授業改善の カリマ ネの 推進	①一人1回研究授業、単元構想図の作成	単元構想図を活用し、逆向きの単元構想を行うことで、付けたい資質・能力を明確にした授業を行う。	計画・実施	実施	実施	実施・振り返り			
				○	○	○	○	A	A	A
		②学ぶ必然性のある課題設定	生徒の疑問や考えてみたいこと、または日常に関連付けた生徒に撮って学ぶ必然性のある課題を設定をする。	計画・実施	実施	実施	実施・振り返り			
○				△	△	○	C	C	C	
③次の学びにつなげる振り返り		振り返りをもとに、生徒にとって必然性のある課題を設定する。	計画・実施	実施	実施	実施・振り返り				
			○	△	○	△	C	C	C	
④学びを深める協働学習(理由付けのある意見交流)		資質・能力を身に付けさせるため、単元を貫く問い(課題)を考えるための意図ある協働学習を意図的に仕組む。	計画・実施	実施	実施	実施・振り返り				
			○	○	△	△	B	B	B	
⑤授業スタイルの徹底		授業スタイルを可視化するとともに、授業スタイルの徹底をする。	計画・実施	実施	実施	実施・振り返り				
			○	△	○	△	C	C	C	
⑥学力分析と改善計画⇒実行		学力調査(標準学力、全国学力、実力テスト等)をもとに、通過率の低い問題を元に分析し、改善計画を立て実行する。定期的に見直しをする。	計画・実施	実施	実施	実施・振り返り				
			○	○	○	△	B	B	B	
⑦小学校との互見授業の実施(授業改善の共通テーマの徹底)		授業改善の共通テーマを徹底することで、小中の学びのつながりをもたせる。また、互見授業を実施する。	計画・実施	実施	実施	実施・振り返り				
			○	○	○	○	B	B	B	
働き方 改革の カリマ ネの 推進	①本校「人材育成構想」を踏まえ、一人一人が自身の目指す教職員像を「業績評価(自己申告)書」に明示し、年間を通じた実践を促す。	【学校経営への参画意識を高める面談】 面談を通じて、「学校評価」と「業績評価(自己申告)書」のつながりを意識させ、学校経営の一翼を担う自覚を促す。	面談(計画作成)		働き方アンケート実施					
			全員実施		肯定的回答 92% 分析・改善		A	A	A	
			「業績評価書」への明記		全教職員への積極的な声かけ					
	②学校教育目標の達成に向けて、主任・主事がリーダーシップを発揮し、担当する校務を自律的かつ効率的に行う組織づくりを進める。	【主任・主事のリーダーシップの発揮】 学校経営会議を毎週定期的に開催し、校長の方針を踏まえた、各分掌における実践を主任・主事のリーダーシップのもと自律的に進められるように支援する。	【ファイル・データの適正管理】 各分掌におけるファイル、データの管理を徹底し、毎年の実践を丁寧に積み重ね、次年度の改善に生かせるシステムを構築する。	面談を通じ確認・指導		日常的な積極的コミュニケーション及びストレスチェックの実施		A	A	A
				3回	3回	3回	3回			
				4回	3回	3回	3回	A	A	A
				点検	点検	点検	点検・改善			
ファイルを主任・主事が保管管理 データは改善(フォルダ整理)を要す		管理状況の評価・改善		A	A	A				